

2014 年 7 月 17 日

発行者: 日本ろう者テニス協会

取材/編集: 尾形スタッフ

---

## － 男子渾身の初勝利！－ 第6日目

---

### ＜一日の流れ＞

6時～ 朝食

6時半 ホテル出発

8時～14時半 試合

15時 テニスコート出発

15時半～ ミーティング

18時～夕食

男女とも予選リーグを終え、男子5～9位決定戦、女子5～8位決定戦です。

ホテルからテニスコートまで、チャタヌーガ在住の日本人の方が送迎してくださるようになり、朝一番乗りでテニスコートに到着し練習する環境ができています。

男子は対アルゼンチン、女子は対ドイツで試合スタート。男子は渾身のプレーで初勝利を収めることができました！

結果と、選手・コーチのコメントを紹介します。

### ● 試合結果

[男子] vs アルゼンチン 2勝1敗

シングルス1: ○榛地英征 vs ●Isidro 6-2、6-1

シングルス2: ●都丸直樹 vs ○Nicolas 2-6、6-7(6-8)

ダブルス: ○鈴木裕将 & 都丸直樹 vs ●Isidro & Nicolas 6-2、7-6(7-4)

[女子] vs ドイツ 1勝2敗

シングルス1: ●豊田恵子 vs ○Verena 2-6、3-6

シングルス2: ●龍野由佳 vs ○Vanessa 1-6、3-6

ダブルス: ○豊田恵子 & 龍野由佳 vs ●Verena & Vanessa 6-2、6-1

## ●コメント

### ■男子

都丸直樹

今日はアルゼンチン戦で日本チームが負けたらビリの9位で終わります。

シングルス、ダブルスに参加しました。シングルスは勝たなければならないというプレッシャーを負ってしまい、最後まで動きが硬かったのですが、2セット目はタイブレークに持ち込むほど我慢しながらプレーしました。しかし我慢だけでは勝てない上、自分らしいプレーが出来ずショックが大きかったです。しかしダブルスが残っているのでそれまでに心の切り替えに専念しました。

ダブルスではフランス戦のダブルスで組んだ鈴木君と良い線までいったので、もう一度組んで再チャレンジし、今までで間違いなく最高のダブルスプレーでストレート勝利を収めることができ、榛地君のシングルス勝利を含めて日本チーム初勝利となりました。ビリだけは免れてホッとし、少し嬉し泣きしました。昨日練習したことが今回の勝利に繋がることできて大変良かったです。

明日はイギリス戦ですが、今日の経験を忘れずにより良いプレーをして、また勝利出来るように頑張ります！

榛地英征

今日から5位～9位決定戦が始まりました。初戦はアルゼンチンで、サーブを武器にした選手が揃っていました。試合にはシングルス1として出場し、初勝利を挙げることができました。一番の勝因は、絶対に負けないという強い気持ちを持って攻めのテニスが出来たことだと思います。また、スライス、ドロップ、アプローチからのボレースマッシュなど、色々な作戦を試すことができました。次のイギリス戦でも戦う気持ちを忘れずに、頑張りたいと思います。

鈴木裕将

今日はアルゼンチン戦でダブルスに出場しました。

ポイントを取る毎にペアの都丸キャプテンと爆発したガッツポーズをたくさん出して気持ちを高めました！

プレー中にいくつかミスしてしまい、プレッシャーに押し負けそうになりましたが、最後まで集中力をキープし、プレッシャーに打ち勝つことができました！

チームがやっと1勝できて嬉しいです。

明日はイギリス戦です。世界の戦い方が少しずつ分かってきたので、しっかり気持ちを入れて自分らしいプレーが出来るように頑張ります！

### ■女子

豊田恵子

今日はドイツと試合をしました。シングルスは、去年のデフリンピック金メダリストと当たっていたのですが、No.2の選手が相手でした。その選手とはデフリンピックで対戦し、完敗した相手です。今度こそはと思って試合に臨みました。踏み込んで打つことを意識してプレーをし、いくつかブレークすることができましたがスライスの処理に苦労し、なかなかキープができませんでした。

ダブルスではNo.3の選手を狙って崩すという作戦がうまく行き、終始こちらの流れでプレーができました。これまで龍野選手とのダブルスはなかなか成果が出なかったので素直に嬉しいです。

す。ですが、シングルスも勝っていればチームの勝利につながったのにとすると本当に自分が情けなくてなりません。

明日はまたインドと当たります。明日が最後の試合です。絶対に負けたくありません。色々作戦を考えてリベンジしたいです。

龍野由佳

5～8 位決定戦にてドイツと対戦しました。昨日のプレーを思い出しながら…ボールを拾い必ず返すという諦めない気持ちを持って、シングルスに挑みましたが、負けてしまいました。敗因としては、バックによるミスが多い上にコントロールが上手くいかず…終いには多数あったチャンスボールを自分のものに出来なかったことが大きいです。昨日の良いプレーをただけにあって、とても悔しいです。

ダブルスでは、もう一度昨日のプレーをした内容を見直しながら” とにかく入れる！守る！”という絶対的な想いを持ち自分の役目を全うしてきました。今回のダブルスではボレーを多数決めたり、相手のボレーやスマッシュから守ったりすることが出来ました。その甲斐があって初勝利を納めることが出来ました。

日本チームとして勝利ではないため、明日のインド戦…リベンジマッチでは”絶対に勝つ！”という想いで挑みたいと思います。

尾形滋子

前日、内藤コーチがされていたコーチングを頭に入れて、今日のドイツ戦のベンチコーチに入りました。ミスしないための注意点や、作戦などを伝えていきました。

豊田さんは前日よりいいプレーをしていましたが、相手の巧みなスライスに苦戦し対応しきれませんでした。スライスへの対応は何度も伝えていましたが、スライスそのものを回避する方法を考えるべきだった等、反省する点が多くあります。

でもそれよりも何よりも、勝利への執念が足らなかったと思います。

明日は再びインドと最後の試合です。今度こそ絶対勝つ気持ちで選手とともに頑張ります！

■コーチ 内藤公広

今日の男子は素晴らしかったです。

都丸は

フランス戦を活かし弾むボールにも食らい付き浮かないショットで我慢し続けました。

その効果か 2nd セットはタイブレークに持ち込み 6-4 とリードするところまでいけました。

しかし、そこでサーブリターンの揉め事が起こり、再開後もタンパクなプレーになってしまい逆転負けになってしまいました。

応援してくださる皆に申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。

榛地は

前半固さがありましたが、途中からプレーが冴えてきました。ストロークもフォアで積極的に攻撃し、バックも時にスライス、時にフラットで凌ぎました。サーブもしっかり振り抜き回転をかけて入れていきました。そして、アタックからのボレー、気合いの入った態度は僕が榛地選手にしてほしいと思っていたプレーでしたので、とても満足しています。

ダブルスは

都丸、鈴木ペアにしました。

昨日の夜に鈴木選手からダブルスで行かせてほしいと懇願されました。台湾の負けフランスの負けを経験してリベンジしたい気持ちは僕も同じでしたので鈴木選手に。

都丸選手はシングルの敗戦もあり確認をしました。「何があっても最後まで集中力を切らさないことができるか？」の質問に「出来る！」と。「この試合は絶対に勝ちたい。勝つために最後まで出しきる準備があるか？」の質問に「ある！」との答えだったので信用することにしました。結果、いくつかの集中力を失うプレーがありましたが、その後引き締まる事ができ、勝利を掴むことが出来ました。



勝つことの難しさを改めて思いましたが、この5日間での成長を物凄く感じる事が出来ました。

明日はイギリスです。

負ける気は全く無いので今日と同じ気合いで突き抜けてほしいと思います。

女子は見る事ができませんでしたが、まだまだ彼女たち自身で甘い所がありそうです。

昨日のインド戦を戦い、身に付けたであろう事をもう一度思いだし、自分達だけでも同じ頑張りを出せるようになると、1つ成長できると思います！



アルゼンチンチームと記念撮影



ドイツチームと記念撮影